

# 高梁市議会だより

第43号  
2020年8月



**特集** 議会のしくみ

6月定例会

議会 ICT化に向けた取り組み

# 議会のしくみ

特集

知っているようで知らない議会のあれこれ



市議会は、市民の生活に直接関係のあるさまざまな議題を扱っている、市民にとっても関わりの深い場所です。でも、議場では法律用語や行政用語が飛び交い、放送を見ても何を話しているのかわかりにくいですよね。

議会ってどうして全部賛成するの？ それなら議会なんに必要ないんじゃないの？

ケーブルテレビや議会だよりでお伝えしている議会の情報を見て、そんな感想を抱くこともあるのではないのでしょうか？

そこで、今回は改めて、議会で何が決まっているのか、議会はどう動いているのかを解説してみようと思います。

## 議会の素朴な疑問

**Q** ほとんどの議案が全会一致で通っているけど、議論はしないの？

**A** 議案の中には、国の法律改正にもなつて、条文の一部を変えただけのものや、法律や条例で議会の承認が必要なものがあります。また、いつも意見が真っ二つに割れて激論しているわけではありませんが、結論が出るまで議案の提案内容の理解のためにさまざまな質疑が行われています。

**Q** 休会日がたくさんあるのはなぜ？

**A** 休会日とは、本会議が開かれていない日のことです。本会議がないといつても、議会で配布する書類を作ったり、議案について調べたり、委員会の準備をしたりと、いろいろな事務作業が行われているんですよ。

**Q** 予算はどうやって決まるの？

**A** 予算は前年の夏ごろから準備が始まります。

最初に、各課から要求額を集め、それを総計したものが12月ごろに議会に報告されます。ここから3月までに、来年入つてきそうなお金（歳入）の予測に合わせて出ていくお金（歳出）を調整したものが、予算案として3月議会で審議されます。ここで可決された予算を「当初予算」と言います。

突然の災害や、特別給付金のような国家事業などで、当初予算を調整する必要がある場合があります。そんなときには、議会に補正予算が提出され、審議されます。



## 6月定例会のスケジュール

月	火	水	木	金	土	日
25	26	27	28	29	30	31
5月		一般質問 通告締切	陳情・請願 締切日	議会運営 委員会		
1	2	3	4	5	6	
6月				議案の上程 など 定例会1日目		
8	9	10	11	12	13	
休会日	休会日	休会日 議案質疑 通告締切	一般質問 定例会2日目	一般質問 定例会3日目		
15	16	17	18	19	20	
一般質問 定例会4日目	議案質疑 定例会5日目	総務文教 委員会	産業経済 市民生活 委員会	休会日		
22	23	24	25	26	27	
休会日	賛成! 反対! 採決 定例会6日目					

休会中には、提出された議案について調べたり、質疑のための準備をします。

提出された議案について、本会議で質疑を行います。その後、議案は担当する委員会に渡されて、詳細が審査されます。

議案数や一般質問の人数などを確認し、日程を決めます。

議会が招集され、議案が議会に提出されます。この日は議案の説明が行われます。

議員が執行部に対して、市の一般事務について質問できます。質問は事前に提出した事項に沿って進めます。

委員会審議結果の報告があり、討論のうち採決が行われます。

今回は、新型コロナ対策として、午前と午後で2つの委員会を開催しました。

## 用語解説

「定例会」ていれいかい

定例的に招集される議会の会議です。高梁市では3月、6月、9月、12月の年4回が決められています。ほかに、必要に応じて招集される臨時会があります。

「議案」ぎあん

議会に議決してもらうために、市長または議員、もしくは委員会が議会に提出する案件のことです。

「請願」せいがん

国や地方自治体へ要望や意見を提出することで、憲法で保障された基本的な権利です。提出するには紹介議員が必要です。提出された請願は、議案として審議され採択されるかどうかが決定します。

「陳情」ちんじょう

国や地方自治体へ提出する要望や意見のうち、法律上の取り決めがないものです。紹介議員は

必要ありません。高梁市在住の方からの陳情は、原則的に請願と同じように審議しています。

「専決処分」せんけつしよぶん

本来なら議会の議決を得なければならない事項を、一定の範囲内や緊急の場合などに、市長が独自の判断で処理することです。処分のあとの議会で、承認するかどうかを話し合います。

「本会議」ほんかいぎ

議場で開催され所属議員全員で構成する議会の会議です。

「委員会」いいんかい

議員を少人数のグループに分けて、それぞれが担当する事項をより詳しく調査するための集まりです。現在、高梁市には「議会運営委員会」、「総務文教委員会」、「産業経済委員会」、「市民生活委員会」、「議会広報公聴特別委員会」、「議会ICT化推進特別委員会」があります。



6月5日から23日まで、第3回高梁市議会が開催されました。新型コロナウイルス感染症予防のため、議場に入る人数を最小限にしたり、一般質問の時間を30分に短縮するなどの対策がとられました。

また、今回は議会ICT化推進の一環として、希望した6名の議員には、議案などの書類が全てデータで送付され、議場にパソコンやタブレットを持ち込んでペーパーレスでの審議を行いました。

報告5件、議案21件はすべて承認・可決され、請願1件は趣旨採択されました。

## 対策・支援策をさらに充実!

### 主な新型コロナウイルス感染症対策と支援策

6月議会でも、新型コロナウイルス感染症に対する議案が提出されました。高梁市独自の事業も含めた全事業が全会一致で議決されました。

#### 主な事業

- ① 高梁市出産特別応援金給付事業  
(特別定額給付金の対象外の新生児にも給付金を支給する事業)
- ② 就学前児童、小学生への子ども用マスクの無償配布
- ③ 中小企業等事業継続支援金事業  
(新型コロナウイルスの影響で前年同月比20%以上売り上げが減少した中小企業等に対して支援金を支給)
- ④ 高梁市事業者応援事業(全市民に市内店舗等で利用できる5000円分の地域商品券の配布)
- ⑤ 避難所での感染症対策  
サーモグラフィカメラや簡易問仕切り等の資材を購入
- ⑥ 感染症対応病床設置への支援
- ⑦ 専門家派遣補助金(感染症の影響を受けている事業者に対して専門家を派遣する事業)

### 小中学校での1人1台タブレット端末整備

国のGIGAスクール構想では、当初、「令和5年度までの児童生徒1人1台端末の整備」とされていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、全国的に休業が長期化し教育課程の実施に支障が生じる事態が発生したため、前倒しされました。国の令和2年度補正予算には、「1人1台端末」の早期実現や、家庭でも繋がる通信環境の整備など、「GIGAスクール構想」におけるハード、ソフト、人材を一体とした整備の予算が計上されました。これを受けて高梁市では、小中学校で合計1516台のiPadと付属品、ソフトウェアを購入することに関する議案が提案されました。

審査過程では、iPadの選定理由や納期、活用方法などについて質問がありました。

納期は令和3年2月27日、選定に際しては、ウィンドウズマシンやクロムブックと比較して、特に

セキュリティ、操作性、普及率などで優位性があることが考慮されたとのことでした。また、活用方法に関しては、学外や学習以外での使用、貸与、トラブル等への対応について早急に制度設計していくとの答弁がありました。

討論では、原案に賛成はするが、小中学校の学年に応じた使い方や、指導者の研修も含めて十分な活用に取り組んでほしいなどの意見が添えられました。

### 市道玉川落合線の災害復旧工事について

議案第70号は、平成30年7月豪雨災害で甚大な被害を受け、現在も終日片側交互通行の規制が続けられている市道玉川落合線の工事請負契約についての議案です。

議案審査においては、なぜこの工事の契約がここまで遅れているのか、どうして今回の工法を選んだのかという部分が論点になりました。

その理由について、国の災害査定時にこの工法が指定されたこと、施工実績のある企業や市内業



労働会館・働く婦人の家



市道玉川落合線復旧工事



# 新型コロナ

者にも声をかけたが入札者がなく、随意契約になったという説明がありました。

この市道は朝夕の交通量が非常に多い路線であり、本格的な工事が始まれば杭の製作に3ヶ月はかかるということなので、地元や利用者に対して交通規制などを丁寧に説明するよう意見が出されました。

## 労働会館と働く婦人の家の廃止について

労働会館条例と働く婦人の家条例を廃止する議案は、両施設の利用者が減少したことを理由に廃止するとの説明がありました。両施設の現状について執行部からは、労働会館の利用者数は、平成5年度の1万2000人から平成30年度には1600人に減っている。働く婦人家の利用者数も同様に減少している。行財政改革により具体的な施設の見直しを検討した結果、廃止となったと答弁がありました。

議案に反対する議員からは、利用者が減ったから廃止するのはお

かしい。地域住民は集会所として利用しており残すべきだとの意見がありました。

産業経済委員会の審査では、条例廃止後の管理や今後の活用についての質問があり、執行部からは、

今後は普通財産となり若干の改修を行う。議決後に森林組合や農業共済組合、やすらぎ教室などの入居に向けた調整を行っていくという答弁がありました。

## 5月臨時議会

### 特別定額給付金等に関する一般会計補正予算案を可決

5月1日に高梁市議会臨時議会が開催され、約31億円の補正予算について審議、可決されました。

4月16日には緊急事態宣言が全国に拡大、4月末までには国内感染者数が1万5000人に届こうとしていました。4月30日に国の令和2年度補正予算が可決したのを受けて、高梁市でも①特別定額給付金事業（一人一律10万円）、②子育て世帯臨時特別給付金事業、③マスク購入券を配布して購入

費の一部を助成する事業、④感染症予防対策や防疫作業などに必要な資材を購入して医療機関や妊婦に配布する事業などの補正予算が提案されました。

審査の中でさまざまな議論がなされましたが、特別定額給付金については、長期入院患者やDV被害者にも届けることができるかという点について、個々の状況に応じて不利益にならないよう対応していくとの答弁がありました。

## うかん常山公園の 指定管理者の指定

うかん常山公園の指定管理者の指定についての審査では、新たに指定管理者となる一般社団法人梁クラスからの提案について質問しました。この提案には、地域の団体と協力してのイベントの開催や芝生広場を利用した遊び、遊具の貸し出しや体験事業。食事はこれまでと同程度のメニューは難しいが、地元野菜を利用したうどんだの提供が盛り込まれています。

委員からは、指定管理者には施設管理の実績がないとの指摘がありました。事業者のやる気、経験のある地元の方を雇うことから選定したとの答弁がありました。

## 高梁市手数料条例の 一部を改正する条例

法改正により、「通知カード」というマイナンバーを証明する書類を廃止し、行政手続きなどの簡素化・効率化を図るといふ国の方針に対応するための改正です。審査では、マイナンバーについて「個人番号カード」や、住民票でも証

明できること、また、新型コロナウイルス感染症対策の給付金申請手続きでの混乱があったことなどの指摘がありました。カードの形で管理すること自体も大変であり、マイナンバーはそもそも住民サービスの向上にならないなどの意見も出ましたが、採決では原案通り可決されました。

## 高梁市国民健康保険税 条例の一部改正

国民健康保険税の税率引き下げに伴う改正等を行う議案です。審査の中では、税率改正については数パターンの検討を行い、一人当たり8300円程度の引き下げになること、3億円を超える基金の積み立てがあることなどの答弁がありました。低所得者の国民健康保険税負担を軽減することや、税率の市民負担が重いので引き下げることができるときには、思い切った引き下げを願う、との要望が添えられました。

## 新型コロナウイルス自粛中の 健康増進番組を制作

新型コロナウイルス感染症対策での外出を控えている方々の健康維持を目的とした番組制作委託料と放映料が一般会計の補正予算として計上されました。15分番組を制作し、放送料として1回2万6000円が195回分必要である。現在でも自主番組で同様の放送が流れているがより専門的になり、あわせてロコモ体操の定着などにも取り組むとの答弁がありました。

## 「日本政府に核兵器禁止条約の調印・ 批准を求める」意見書採択を求める 請願について

請願者の意見陳述においては、「岡山『被爆2世・3世の会』」代表が、ご自身が原爆被爆2世であることを明かされ、また、被爆当時やその後の経験談、請願に至った経緯を話してくださいました。その後の総務文教委員会の審査では、核兵器禁止条約の調印、批准は外交・防衛に関するところで国の専権事項であるため、一地方議会が国等に意見書を提出することに賛同する委員はおらず、請願を採

択するという意見はありませんでした。

しかし、核兵器廃絶という請願の趣旨は理解できるとして、「趣旨採択」を求める意見が委員から出されました。これに対して、国の専権事項に高梁市議会が反対をすることはできない。家族を守るためには国の方針に従うしかないとして、不採択の立場から意見が出されました。総務文教委員会の採決では、賛成多数で「趣旨採択」と決しました。

本会議では、核兵器禁止条約そのものについて、人道上、安全保障上の観点から十分な審査がなされていないとの意見がありました。採決では賛成多数により「趣旨採択」と決しました。



方谷林公園の原爆慰霊碑

## 一部の議案に反対、請願を趣旨採択とすることに賛成

(平松賢司)

「高梁市労働会館条例を廃止する条例」、「高梁市働く婦人の家条例を廃止する条例」について、利用者減少や行財政改革を理由に廃止することには反対であり、労働者や働く婦人にとって市内で唯一のこれらの施設は残すべきと考え

る。「高梁市手数料条例の一部を改正する条例」は、住民サービスの向上につながるマイナンバーカード関連の条例であり反対する。

「高梁市国民健康保険税条例の一部を改正する条例」については、国民健康保険税が引き下げられる内容であり賛成するが、そもそも市民負担が多く支払い困難者を生み出す原因となっているので、税率を引き下げることが可能なときには思い切って引き下げをするこ

とを要望する。

高梁市一般会計補正予算には賛成するが、今後も行政が市民生活の隅々まで手を差しのべることを要望する。

請願については、県内の6割を超える自治体がこの請願を採択しており、また高梁市は非核平和都市であるため、市長は被爆者慰霊碑に参拝し、被爆者国際署名に署名もしている。

憲法上、国民は請願権を持つているので、本来ならば請願の採択を求めるところであるが、趣旨採択については請願者自身が一定の理解を示していることから請願については趣旨採択とすることに賛成する。

## 全ての議案に賛成。請願を趣旨採択とすることに賛成

(石田芳生)

今議会での議案には、新型コロナ

ナウイルス感染症対策として、赤ちゃんをはじめとする全ての市民、医療従事者、そして事業者に対する支援策が盛り込まれている。今後、迅速な執行に努めていきたい。

雨期を迎え災害や避難が現実のものになりつつある。感染症対策下での災害への備え、市民への情報提供をお願いしたい。

請願について、自治体議会として国の専権事項である防衛や外交に関して意見書を提出することには躊躇する。他方で本市は「非核平和都市宣言」を、合併以前の1市4町から引き継いでいる。また、合併後の高梁市議会でも全会一致で議決している。請願の趣旨は、平和を希求し、核兵器を全面廃絶することであり、本市の掲げる「非核平和都市宣言」と合致すると考えるので「趣旨採択」とすべきである。

## 6月定例会で賛否が分かれた議案の議決結果

○賛成 ●反対

件名	伊藤	森	平松	森上	三村	黒川	石田	石部	石井	宮田好	森田	倉野	川上修	宮田公	川上博	大月
高梁市労働会館条例を廃止する条例	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
高梁市働く婦人の家条例を廃止する条例	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
高梁市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	●	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
「日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める」意見書採択を求める請願（趣旨採択）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●

※議長は採決には加わりません。 ※他の議案は全会一致で可決しました。

5月22日

## 高梁市総合計画の策定について

高梁市の中長期的、総合的な計画については、平成22年に「高梁市新総合計画」が策定され、「ひと・まち・自然にやさしい高梁」を目標に様々な施策を展開してきました。

しかし、人口減少・少子高齢化は進み、平成30年7月豪雨災害からの復旧復興、第4次産業革命ともいわれる産業構造の変化、多文化共生社会の到来など、高梁市を取り巻く環境の変化により解決すべき問題や課題も多

岐に及んでいます。そのためこれまでの計画の検証を踏まえ、新たな総合計画が令和2年度中に策定されます。

## 旧高梁市健康増進施設「朝霧温泉ゆ・ら・ら」跡地活用について

平成24年末から休業中となっている「朝霧温泉ゆ・ら・ら」は、令和元年12月から施設の売却先の募集を開始した結果、応募が2者からあり、審査の結果株式会社エヌデイエスに優先交渉権が与えられることとなりました。

## 第2次高梁市地域公共交通網形成計画について

平成27年に高梁市地域公共交通網形成計画（第1次計画）が策定され、さらに平成28年の高梁市地域公共交通再編実施計画により交通再編が行われてきました。しかし、人口減少、運転免許証保有率の上昇など公共交通の利用者の減少、公共交通関連支出の増大による計画の見直しが喫緊の課題であることから第2次高梁市地域公共交通網形成計画が策定されました。

7月9日

## 高梁認定子ども園の整備について

就学前児童数の減少に併せ、幼稚園を希望する保護者も減っています。また、乳児保育ニーズ、市街地の施設の老朽化が課題となっています。整備のコンセプトとしては「夢が広がる子ども園（子どもとも）につながる子ども園」（案）、建設予定地として市街地の2カ所が示されました。

質疑応答では、市民とのワークショップを通じてコンセプトを建設に生かしていくこと、既に市が所有している土地やその周辺地域も候補地と成りうるとの答弁がありました。

## 消防庁舎の整備について

現在の消防庁舎は、著しい老朽化、手狭な執務・車庫・訓練スペースや女性用施設等が未整備のため、新しい消防庁舎整備の検討が進められました。

6月30日、第1回高梁市消防調査整備検討委員会が開催され、川端町内の民有地が候補地として決定したとの報告がありました。質疑応答では、消防庁舎整備指針、人命救助や延焼防止の観点から、市街地に整備する必要性があること、候補地が土砂災害警戒区域に含まれてはいるが、災害にも対応した施設整備を行うとの答弁がありました。

## 閉会中の所管事務調査 市民生活委員会

4月27日に市民生活委員会が所管事務調査を実施しました。

所管事務調査とは、所管する事項の調査を行うことにより委員会活動の充実を図り市政に反映させるために行うものです。

新型コロナウイルス感染症対策の対応について対応状況の詳細な説明を受け、質疑応答を行いました。

- 補正予算で購入したマスクなどの資材の活用状況
- 市内保育園における対応状況
- 学童保育の状況
- 微酸性次亜塩素酸水の活用



微酸性次亜塩素酸水生成装置



# 高梁市議会のICT化を進めています

議会ICT化推進特別委員会活動報告

議会ICT化推進特別委員会は、議会のICT(インターネッ

ト・コミュニケーション・テクノロジー)化の調査研究を目的として設置されて以来、委員間の協議や、先進事例導入団体への視察研修、会議システム研修会への参加などにより調査研究を進めてきました。

現在導入を進めているグループウェアは、議会内の情報伝達、情報共有を高め、議会活動の効率化・迅速化及び活性化に寄与するツールです。今回試行した「LINE WORKS(以下ラインワークス)」は、チャット、電子メール、電子掲示板、電子回覧板、ライブ러리、カレ

ンダーなどが統合されたビジネス用チャットツールです。

令和2年2月以降、議会ICT化推進特別委員会の委員6名で、個人所有のスマートフォンに「ラインワークス」をインストールし、議会事務局からの通知・連絡、委員間の連絡などをペーパーレスで行い、ソフトウェアの操作性や利用環境等を確認しました。試行した結果が良好であったため、その後は議会全体で「ラインワークス」の活用を行うことになりました。

電子会議システムについては、導入により、議会運営の効率化と迅速化が図られ、コピーや製本などの事務作業を軽減する効果がありますが、スケールメリットを出すためには、執行部とともに進めていく必要があります。このシステムを活用するためには、議員個々のICT機器操作技術の向上も不可欠で

あることから、委員会内でシステム選定や議員研修方法等を引き続き協議していくことにしています。

6月議会からは、議案や資料等を電子媒体で配布することや、それらを閲覧したり、メモや書き込みをするために、議場や委員会室へ各議員所有のパソコンなどのデバイスの持ち込みを認めることとし、キーボードなどでの入力作業等を有志議員などで試行しました。

今後、グループウェアについては、ソフトウェアの操作性、利用環境、個々の議員の活用具合を確認して選定作業を行い、電子会議システム、さらに、インターネットの通信環境の整備についても引き続き調査・研究を進めていきます。



©LINE Corporation

閉会中の所管事務調査

## 産業経済委員会

7月2日、産業経済委員会は指定管理施設(高梁市サイクリングターミナル「神原荘」)の管理状況の調査を行いました。

この施設は、一般社団法人高梁市観光協会が指定管理者として運営し、観光や合宿などで利用されています。6月議会の産業経済委員会で委員から調査の提案があったことから執行部に説明を求めました。

担当の産業経済部観光課から、豪雨災害や新型コロナウイルス感染症の影響があり、昨年度と一昨年度は赤字であり、利用者の回復が見込めない食堂部門は休止しているとの説明がありました。これに対して委員からは、市は指定管理者に任せるだけでなく、状況を十分把握しコンセンサスを取り必要な指導や支援を行うべきではないかとの意見が出されました。

# 全市民に商品券を配布 新型コロナ対策へ多くの質問

## 一般質問

今議会での一般質問は、新型コロナウイルス感染症対策のため、1人の持ち時間を通常より10分短い30分に行われました。11人中9人が新型コロナ対策について質問しました。

**石部** 日本共産党の市民アンケートによると、合併後地域の暮らしは良くなっていないと感じてる方は44%もいる。地域の行政サービスや細かな施策の低下、インフラ整備や生活道の改修の遅れもある。財政の偏りや市長の独断という意見も寄せられた。市役所の近くに住んでいるが身近に感じないなどの意見もある。もつと市民に寄り添うことが必要ではないか。

**市長** 合併は必要だった。一体感の熟成と、新都市建設計画の着実な実行が必要だが、できたこととできない部分がある。限られた財源をどう投資するか市民に説明していく。

**政策監** 損失は出ているが、具体的な件数や金額はつかんでいない。

**健康福祉部長** 感染症は国・県対応であり、相談・検査数など分からない。情報は少ないと間違った情報が拡散し不安をおおることもなる。県に対して情報提供を要望し、市民に対しては、正しい情報提供に努めていく。

健康被害や経済的損失を把握しないと、感染対策も経済支援もできないと思うが

答弁：

具体的にはつかんでいない



ここを  
ききました

石部 誠議員

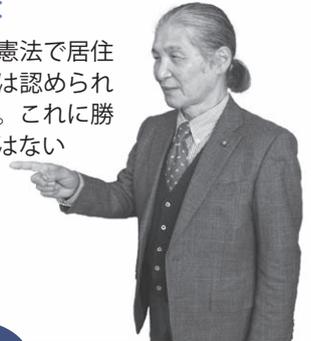
市長の政治姿勢について

- ・市長の政治姿勢について問う
- ・新型コロナウイルスでの健康及び経済的被害者への支援を求める

市長の施策のほうが住民の権利より上位にあるということになるのか

答弁：

日本国憲法で居住の自由は認められている。これに勝るものはない



森上 昌生 議員

ここを  
ききました

・近藤市長の政治哲学を問う

「施策全てに批判的な方が高梁市へ住まれることがどうなのか」という発言の真意は

**森上** 市長の考える民主主義、民主政治とはどういうものか。

**市長** 自分たちの生活を守る、また向上させるために政治に関与することが、間接民主主義になっている。

**森上** 「施策全てに云々」という発言は、要するに自分の施策に批判的な方は高梁から出ていけばいいという、全体主義的な考え方につながるのではないか。こういった発言をすることは問題ではないか。

**市長** 当然いろいろな意見があることは承知しているし、私も個人

としてはそういう意見を持つことはある。批判に対してしっかりと耳を傾けていく気持ちは変わらなない。その点について十分に説明できていなかったことは私の説明不足と思っている。

**森上** 「施策全てに云々」という発言の取り消し、削除がないのは確信的な発言と捉えてよいか。

**市長** その発言をした覚えは私にはない。どうなのかと言った。

**森上** 「施策全てに云々」とは他にどのような解釈があるのか。

**市長** そういう方について一つ一つ説明し、理解していただくよう努力し、高梁に住んでいただきたいと申し上げている。

**森上** 論言汗の如しの言葉もある、発言には気をつけてほしい。

飲食店応援事業として5,000円の食事券を全世帯に支給すべきではないか

答弁：

5,000円の食事券もしくは商品券を全市民に配布するように考えている



川上 博司 議員

ここを  
ききました

- ・新型コロナウイルス感染症対策について
- ① 地域経済の下支え支援を強化すること
- ② 医療・介護・障がい福祉サービス従事者等に応援金を支給すべきではないか
- ③ 災害時の避難方法及び避難所の運営について
- ④ 地方創生臨時交付金などの予算を速やかに執行すべきではないか

地域経済を下支えする対策を

**川上** 飲食業の消費喚起を図るため、子育て世帯に3,000円の子ども食事券を交付したところ大変好評で、使われる方も飲食業の皆様にも大変喜ばれている。さらに飲食店の皆様に応援するため新たに5,000円の食事券を全世帯に支給してはどうか。

**市長** 新型コロナウイルスの感染拡大で影響を受けている事業者への即効性のある経済対策を視野に入れていく。現在、どういう形にするか議論しているが、5,000円の食事券か商品券を全市民に配布していきたいと考えている。

**川上** 先日の水害訓練において感染症対策避難所マニュアルにそっ

での訓練も行われている。今後、どのように対応していくのか。

**政策監** 6月3日に感染症対策避難所マニュアルを作成した。これにより、体調の確認、人との距離を確保した避難スペースの設置、間仕切りなどの設置、体調の悪い人を別室へ移動などの感染対策を実施していく。

6月6日の避難所運営訓練



## 中体連備北地区大会夏季大会代替大会の市の支援の在り方について

答弁：

最大の支援をしようと考えている



伊藤 泰樹 議員

ここを  
ききました

- ・産業振興策について
- ・学校教育現場について
- ・中学校部活動地区大会について
- ・スクールバスについて

## 産業振興策について

**伊藤** 地域の和・洋菓子、地元産。ピオーネの給食等への利用時に助成できないか。

**市長** 知恵を出しつつやっていく。

**伊藤** 市の中小企業等継続支援金と国の持続化給付金は重複して受給できるのか。平成30年7月豪雨の影響で比較が困難な場合は。  
**産業経済部長** 重複は可能。比較困難な場合は罹災特例を設ける。

## 学校教育現場について

**伊藤** いつまで検温、健康観察などに取り組むのか。

**教育長** 子どもの心と体に配慮しながら、悪影響を及ぼさないよう息の長い取組みをする。

**伊藤** コロナ対策をしながら熱中症対策はどうするのか。

**教育長** マスクをしなくても良い場合もある。換気をしながら冷房をかける工夫をする。

## スクールバスについて

**伊藤** 効率を優先した検討はすべきではないと考えるが。

**副市長** 運行経費縮減はスクールバス運行に限らない。並行して走っている場合に混乗化で整理してはどうかということ。

**伊藤** 一人だとしても何とかしようとする姿勢が、市内どこでも子どもを育てやすいと感じてもらえる基本になるのではないか。

**市長** 最良の策は見出していかない。関係者と見つけていきたい。

## 児童・生徒の安全確保は行革とは別だ

答弁：

行革での全体的な補助見直しは必要



宮田 好夫 議員

ここを  
ききました

- ・特別定額給付金について
- ・河川改修とダムの前放流について
- ・遠距離通学基準の見直しについて

## 遠距離通学について

**宮田** 遠距離通学費補助制度について小学生を2 km以上から4 km以上へ、中学生を4 km以上から6 km以上に変更するのはなぜか。

**教育次長** 合併時の調整事項となっているもので、行革の方針もあり国の基準に合わせた。

**宮田** 見直しで影響ある児童生徒は何人か。また削減される金額は。  
**教育次長** 小学生7人で約28万円、中学生8人で約88万円となる。

**宮田** 対象者が多い津川学園PTAから補助継続と通学路の安全確保の要望書が提出されているが。

**教育次長** 通学路の安全確保は、毎年要望により実施しているが、できていないところもある。補助

見直しは行革として進めたい。

**宮田** 市長は児童生徒の通学についてどう考えるのか。

**市長** 子どもの安全を第一に考えなければならぬのは当然。全体の行政改革は進めなければならぬが、個々の課題については検討の余地がある。スクールバスも含め今後検討していきたい。

**宮田** 9月議会で再度考え方を聞くので十分検討を進めていただきたい。



スクールバス

今後の観光施策についてどう考えるか

答弁：

広域的観光を視野に入れて考えていく



石井 聡美 議員

ここを  
ききました

- ・新型コロナウイルス対策について
  - ① 観光施策について
  - ② 学校教育について
  - ③ 医療介護体制について

コロナ後の観光施策について

**石井** 既存の観光施策が転換を求められている。どうあるべきと考えるか。

**市長** 2024年まではインバウンドの回復は難しいと目される。まずは国内交流人口をしっかりと獲得し、インバウンドについては市内にしっかりと基礎を作る。真庭市、矢掛町や鳥取県、島根県などと連携し、広域的な観光を視野に入れて考えていく。

**石井** 観光施策として動画ブログを配信するVロガーによる動画の配信を支援してはどうか。実際に住んでいる人が発信する情報や文化は、今の旅行者が重要視する情報となるはずだ。



(※) Vロガー…動画を使った日記をYoutubeなどに投稿する人のこと

**市長** 行政がどう関わっていけるか検討していきたい。

**石井** 観光客が少ない今の時期に、老朽化している観光施設の改修を進めておくべきではないか。備中松山城のトイレは女性では使づらいと聞く。また、途中の音声放送は外国人にはわからない。  
**市長** 高梁市はトイレのまちづくりを行っているので、しっかりと点検改善したい。音声言語にはQRコードを使うことも考えられる。

教育でのICT活用にはどのように取り組むのか

答弁：

臨時休校への対応のみならず、不登校、やすらぎ教室、合同授業に活用する



石田 芳生 議員

ここを  
ききました

- ・医療について
- ・教育について
- ・新型コロナウイルス対策としての事業者支援と産業振興について
- ・災害対策について

医療について

**石田** 新型コロナウイルス感染症や今後の新たな疾病対策としてどのようなことに取り組むのか。

**健康福祉部長** 感染症対策の病床や医療従事者の確保が課題である。病床確保のために、整備に必要な補助金を予算化している。人材確保は従来からの課題であるが、吉備国際大学や医療機関との連携を強化することで対応していく。

**市内事業者に対する経済支援について**  
**石田** 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている個々の事業者に十分な支援が届くのか。

副市長

答弁：

臨時休校への対応のみならず、不登校、やすらぎ教室、合同授業に活用する

ここを  
ききました

- ・医療について
- ・教育について
- ・新型コロナウイルス対策としての事業者支援と産業振興について
- ・災害対策について

国や県の隙間を埋める、スピード感を持って取り組むことが市の役割である。20%の売上減少での給付金支給、高収益を生む農作物についても対策を考えている。必要となれば新たな制度の創設にも取り組む。

感染症対策下での要支援者の避難について

**石田** 災害時には命を守るために避難をする。新型コロナウイルス対策のために避難所に入れないということがあつてはいけないのではないか。

**政策監** 避難の第一は危険から生命身体を守ることである。市民が避難することに対して躊躇を感じることがないように取り組む。

持続化給付金は売上が減少したすべての事業者を対象にするよう国に要請すべきでは

答弁：

運用面において柔軟で有効な支援となるよう要請したい



平松 賢司 議員

ここを  
ききました

- ・移動スーパーによる高齢者の生活支援制度の創設について
- ・新型コロナウイルス対策に関する中小事業者への支援について

### 移動スーパーによる高齢者の生活支援制度創設について

**平松** 移動スーパーは、買い物弱者の支援や、高齢者の見守りなど、地域の安心なまちづくりにつながり、親族にとっても希望をもたらすことになると思うがどう考えるか。

**健康福祉部長** 高齢者の買い物支援や見守り支援としては、社協に委託している福祉移送サービス、弁当配食サービス、生活を援助するちよこつとお助けサービスなどを行っているので利用促進等も含めて充実していきたい。

### 地域商業活性化支援補助金制度について

**平松** 現在の地域商業活性化支援補助金制度では、移動販売車の取得経費の2分の1の補助で限度額が新車で150万円である。移動販売車の新車は3〜400万円するので、補助率を2分の1以上、限度額も250万円に引き上げ、さらに燃料経費の2分の1の補助はできないか。

**産業経済部長** 移動販売車への補助実績は5件で、商業活性化及び経済活性化に役立つ事業として一部を補助している。補助を行う場合は経営見通しを確認しているので引き上げは考えていない。また経費への補助も考えていない。

福祉車両の購入に補助は出せないか

答弁：

ニーズがあることから実施に向け取り組む



黒川 康司 議員

ここを  
ききました

- ・新型コロナウイルス感染症対策について
- ・福祉車両購入助成制度について

### 福祉車両購入助成制度について

**黒川** 車椅子やストレッチャーを使用しなければ移動するのが困難な方に対して、車椅子などで乗降できる装置を取り付けた車両の購入に一部助成を行う市がある。高梁市も助成できないか。

**健康福祉部長** 高梁市には、障害者の社会支援として、自動車の改造に対する助成制度がある。しかし障害者の方が自ら運転することが条件で、家族の方が運転する福祉車両への助成制度はない。障害者の方の社会参加については総合支援法の目的のため市としても更なる促進を図っていかねければならないと考えている。

家族の方のニーズがあるということ踏まえ制度拡充に向けて取り組んでいきたい。

### 高梁市医療計画について

**黒川** 高梁市が独自に策定した高梁市医療計画に感染症対策についても検討すべきではないか。

**市長** この医療計画は、中山間地域にあって、これからの医療についてどうあるべきか大局的に求めたもので、将来の高梁市の医療体制を示したものである。

個別の事案である新型インフルエンザ感染症については具体的な対策を策定しており、今回の新型コロナウイルス感染症についても国、県の動向を踏まえながら対応していく。

平成30年7月豪雨災害の教訓は生かされているのか

答弁：

組織連携や情報共有の課題を踏まえて防災計画を見直した



三村 靖行 議員

ここを  
ききました

- ・防災対策について
- ・土木技術職員の早期退職について
- ・第2次高梁市地域公共交通網形成計画について

防災対策について

**三村** 6月13日の雨で市道玉川落合線が事前放流のため全面通行止めになったが、今後も事前放流したら通行止めになるのか。

**政策監** 放流量で判断する。

**三村** (二社)岡山県建設業協会高梁支部との連携は機能しているか。

**政策監** 平成30年災害は市内多数で発生し、うまくできなかったところもある。今後は警察、県等関係機関と情報共有も必要。対応できるような具体のところは調整して動けるようにしたい。

土木技術職員の早期退職について

**三村** ここ10年で多くの退職者が出ているがどう認識しているか。

**副市長** 若い職員が退職しているが、これは自宅に近い市外、県外に戻っていることもある。

**三村** 退職によつての影響をどのように認識しているか。

**副市長** 市民にも多少は影響がある。また地域間競争もある。通年募集、再任用に取り組んでいる。

第2次高梁市地域公共交通網形成計画について

**三村** 第1次の計画では料金が高く通行時間帯も悪いため利用者が少ない。第2次では以前のようにタクシー券を復活できないか。

**市民生活部長** タクシー利用は自由もきき利便性も高い。本市に見合うモデル地域を設定し、利用状況を見ながら検討したい。

子ども用マスクもマスク購入券などによる支援はできないか

答弁：

子ども用マスクの確保には全力を尽くしたい



森 和之 議員

ここを  
ききました

- ・新型コロナウイルス対策について
- ・レミファルトの原材料支給について
- ・手指消毒液と子供用マスクについて
- ・成羽病院について

平成30年7月豪雨災害復旧未完了箇所について

**森** 災害復旧未完了箇所が心配である。安全性の検証と対応は関係機関と協議できてるのか。

**産業経済部長** 未完了地区は随時パトロールをして、状況は把握しているし、県の工事についても情報共有を図っている。

建設課維持補修係について

**森** 係を新設したことで、市民の要望に細やかな対応ができるのか。

**産業経済部長** 今まで丁寧な説明ができていなかったが、住民とのやりとりを迅速に行い、速やかな対応ができると思っている。

手指消毒液について

**森** 不足しているアルコール消毒液を市内の飲食店や、イベントの主催団体などに配布できないか。

**健康福祉部長** 入手に関わる環境の変化にもよるが、その推移等を見極めながら、経済対策としての必要性も含めて関係部署と検討していきたい。

成羽病院について

**森** 新型コロナウイルスのような感染症の大流行時には、4階の療養病棟を感染症病棟として稼働すべきではないか。

**成羽病院事務長** こういった事態が起きた時に対応ができる方法は総合的に考えていきたい。

9月の定例会スケジュール

8/20	木	本会議 (議案の上程)
8/26	水	本会議 (一般質問)
8/27	木	本会議 (一般質問)
8/28	金	本会議 (一般質問)
8/31	月	本会議 (議案質疑)
9/1	火	委員会
9/2	水	委員会
9/3	木	委員会
9/8	火	採決

※9月定例会への請願のしめ切りは  
8月13日までです。

※日程は変更となる場合があります。正式な日程は決まり次第、ホームページなどでお知らせいたします。

**政治家の寄付は禁止！  
有権者が求めることも  
禁止されています！**

公職選挙法により、市議会議員が選挙区内でお中元やお歳暮、ご祝儀を出すことは禁止されています。市民から求めることも禁止です。



編集

- |       |      |       |      |       |       |       |       |       |
|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 委員    | 委員   | 委員    | 委員   | 委員    | 委員    | 副委員長  | 委員長   | 特別委員長 |
| 伊藤 泰樹 | 森 和之 | 森 上昌生 | 石部 誠 | 宮田 好夫 | 川上 博司 | 石井 聡美 | 石田 芳生 |       |

SNSでの  
情報発信 始めます！



高梁市議会 Facebook ページ



高梁市議会 Twitter 公式アカウント

高梁市議会でもSNSを使った情報発信を行うことになりました。これまでも議会のホームページを設けて、議会日程、議事録、議員別政務活動費支出状況等を公表してきました。

さらにフェイスブックやツイッターを活用することにより、より多くの、また幅広い年代の方に情報提供し、議会への市民参加を推進していきます。



Facebook



Twitter

8月号の表紙について

市民有志のサプライズ花火

6月27日土曜日に、ききよう緑地付近の高梁川河原から、サプライズ花火が打ち上げられました。これは市内の花火師さんとその呼びかけに応じた有志の方のご協力によるもの。豪雨災害からの復旧復興、疫病退散、医療従事者の方々への感謝の気持ちと、市民の皆さんに明るく前向きになっていただきたいという思いで打ち上げられました。



〈撮影者／石井敦様（遊人フォトクラブ）〉

編集後記

この議会だよりがお手元に届くころ、例年であれば夏の風物詩、成羽愛宕大花火、マンガ絵ぶたまつり、松山踊りが行われ市民の皆様が過ぎ去る夏を感じていると思います。今年は新型コロナウイルス感染症の流行により全てのイベントが中止となりました。とても残念なことではありますが、祭りを語り継ぐ上で、良い経験をさせてもらったと思います。議会だよりの編集も3密を避けながらの編集となりました。次の議会だよりは改選後の発行となりますが、市民の皆様にも一人でも多く読んでいただける紙面の充実を図りたいと思っています。(森 和之)